(一財)日本建築総合試験所
建築技術性能証明　評価シート

【技術の名称】 SEKO－EXパイル工法 －回転貫入鋼管杭工法－	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 11-19 号 性能証明発効日：2011 年 12 月 9 日 【取得者】 株式会社 世古工務店

【技術の概要】

本技術は、鋼管の先端部に掘削刃と螺旋状の翼を取りつけ、この鋼管を回転させて地盤中に貫入し、これを杭として利用する工法である。杭先端部の加工には、自社工場における独自のロボット溶接等の高度な加工技術を用いており、高品質な杭材の供給が可能となっている。

【技術開発の趣旨】

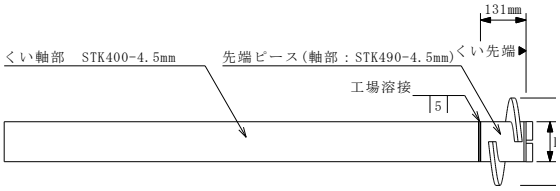
本技術は、小規模建築物を対象とするコストパフォーマンスに優れた小口径鋼管杭工法として開発したものである。先端翼部径を軸部径の 2 倍～3 倍と幅をもたせることで、許容支持力、杭先端深度、杭先端地盤の強度に応じた選択肢の広い杭設計を可能としている。また、軸部径を小規模建築物に適用するのに十分な 114.3mm に一本化することで、施工管理精度の向上と製造・運搬コストの低減を図っている。さらに、杭先端部をピース化する場合も設定することで、許容支持力に応じた最適な鋼材の組み合わせを可能としている。

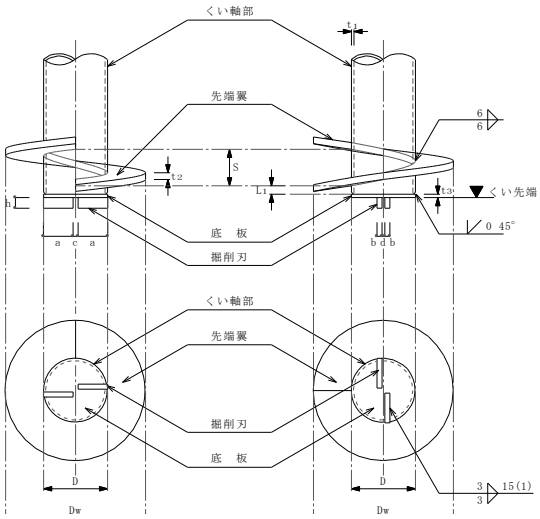
【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「SEKO-EX パイル工法 製造・施工基準」に従って製造・施工された杭の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、「SEKO-EX パイル工法 設計基準」に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できると判断される。

杭軸部径 D(mm)	先端地盤	先端翼部径 Dw (mm)	N' の適用範囲	$\bar{N}$の適用範囲
114.3	砂質(礫質を含む)	250、300、350	5≦N'≦15	10≦$\bar{N}$'≦15
	粘土質	250、300、350	5≦N'≦15	6≦$\bar{N}'$≦15





【本技術の問合せ先】
株式会社 世古工務店　　担当者： 有木 啓昌　　E-mail：seko-mie@estate.ocn.ne.jp
〒510-0256　三重県鈴鹿市磯山四丁目 8 番 22 号　　TEL：059-387-6111　FAX：059-386-5049